



特別支援学校（知的障害） ミスターQ のなぞ解きに挑戦！「きみならどうする？」

1 題材名 ミスターQ のなぞ解きに挑戦！「きみならどうする？」

2 題材設定の理由

知的障害と一言で言っても、児童生徒の実態はさまざまで、学習を積み重ねることで理解が深まり実生活の中で学習したことを生かすことが可能な児童生徒から、体験的な活動を積み重ねることで学習内容への興味関心が深まっていく児童生徒まで幅広くいる。このような実態の児童生徒に対して、保健安全の指導を行う際には、校内で過ごすときのきまりや、交通安全、けがの予防等の安全指導などを各教科と関連付けながら実践的に学習することが必要であると考え。また、臨機応変な対応が苦手な児童生徒が多いため、体験的な活動を取り入れることで、様々な状況に対応できる素地を身に付けさせたいと考えた。

そこで、本題材では、安全な行動の指標である「いかのおすし」をより身近な問題として捉えられるようにロールプレイで学べるようにした。具体的な危険回避の対処法を知り、安全について理解を深め、考える中で、自分の身を守る意識が高まり、いざというときに慌てないで行動できる能力と態度を育成できるのではないかと考える。このような活動を通して、安全への意識を高め、自分の身を守ることの大切さに気付き、日常生活の中で生かしてほしいと考え、本題材を設定した。

3 本題材のねらい

安全な生活のために、危険を回避する方法を知り、適切に行動できるようにし、普段の生活において実践できるようにする。

4 評価基準

より良い生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をより良くしようとする態度
自分の生命の安全確保に必要な、危険を回避する方法を理解することができる。	紙芝居や話し合いを通して、身の回りの危険に気付くことができる。	危険を回避するための行動をとろうとしている。

5 指導計画

過程	期日	活動の場	活動内容
事前	月 日	帰りの会	日常生活の安全について、幼稚園や保育園で学んだことや家の人との約束などについて家族と話し合ってくるよう伝える。
本時	月 日 第 校時	生活単元学習	危険を回避する具体的な方法を知り、普段の生活で危険に直面した際、適切に対処できるようにする。
事後	月 日	家庭 帰りの会	健康手帳を持ち帰り、学んだことを家族に伝える。 帰る際「いかのおすし」を確認する。

6 本時の展開

(1) 本時の目標

- ◎危険を回避する方法を知ることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- ◎ロールプレイで実際の場面を想像し、危険を回避する具体的な行動ができる。 (知識及び技能)
- 安全に対する意識を高め、普段の生活で危険に直面した際、適切に対処しようとする。 (学びに向かう力、人間性等)

(2) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 10 分	1 本時の学習課題を確認する。	○ミスターQからの指令を伝える。 本時の学習課題を確認し、一人一人が課題を意識して活動に取り組めるようにする。
	ミスターQのなぞ解きに挑戦！「きみならどうする？」	
	2 パワーポイント資料「よつばくと いかのおすし」を読む。	○内容が正しくつかめるように読み手側に書かれている指示を守り、ゆっくり丁寧に読むことで、受け答えをし、楽しみながら聞くことができるようにする。
	3 ミスターQからの指令をロールプレイする。 (1) 誰かに「お菓子をあげる」と言われたら	○よつばくんが戸惑っている様子を伝え、自分だったらどうするか、考えることができるようにする。 ・逃げる。助けを呼ぶ。大声を出すなど
	4 身を守るための「いか・の・お・す・し」のことば一つ一つについて、どのような内容か確認する。 「いか・の・お・す・し」 いか：知らない人について「いか」ない。 の：知らない人の車に「の」らない。 お：危ないと思ったら「お」おきな声を出す。 大声は「助けて」「やめて」と言う。 す：危ないと思ったら「す」ぐ逃げる。 隠れるのではなく、大人の人がいるところに逃げる。 し：何かあったら大人に「し」らせる。 大人に知らせるときは、 <u>すぐに話す</u> 。	○「いか・の・お・す・し」のイラストを提示することで、具体的な動きをイメージできるようにする。 ○大きな声で「助けて」「やめて」という練習をすることで、ロールプレイする際に、大きな声で助けを呼ぶことができるようにする。
展開 25 分	5 いろいろな場面を出題し、教師が知らない人に扮し、一人ずつロールプレイする。 文部科学省「たいせつないのちとあんぜん」ぼうはんのおやくそくを参考に出題する。 (1) 誰かに「車に乗せてあげる」と言われたら (2) 誰かに「写真を撮らせて」と言われたら (3) だれかがずっとついてきたら (4) 友だちが危険な目にあっていたら	○ロールプレイの前に、「いか・の・お・す・し」の中から、自分で出来そうな対処方法を確認することで、危険を回避する演技ができるようにする。
	6 友だちのロールプレイを見て、良かった点や、追加点、工夫点等を発表する。	○友達の見聞を聞くことで、危険回避の方法にはいろいろな行動があることに気付くことができるようにする。
	7 ロールプレイを振り返り、危険回避に有効かつ具体的な対処方法を確認する。 危険を回避するためには、「いやだ」「危険だ」と思う時には、「近づかない」ことも一つの方法であることを伝える。	◆普段の生活で危険に直面した際、適切に対処しようとしている。 (学びに向かう力、人間性等)【ロールプレイ】

まとめ 10分	<p>8 本時の活動を振り返り、分かったことや感想を発表する。</p> <p>9 「いかのおすし」を復唱する。</p> <p>10 ミスターQからの認定証を渡す。</p>	<p>○イラストを提示することで、学習した内容を振り返ることができるようにする。</p> <p>◆危険を回避する方法について考えている。 (思考・判断・表現)</p> <p>◆自分が出来そうな方法で、危険を回避しようとしている。 (学びに向かう力、人間性等) 【観察】</p> <p>○復唱することで、「いかのおすし」を覚えられるようにする。</p> <p>○認定証を渡すことで、授業に意欲的に取り組んだことを称賛する。</p>
------------	---	--

(3)資料 ミスターQからの指令

- 紙芝居「よつぱくんと いかのおすし」
(参考 日本スポーツ振興センター防犯対策紙芝居「はなちゃんのかえりみち」)
- 文部科学省リーフレット「たいせつないのちとあんぜん」
- ミスターQ「いかのおすし」認定証



特別支援学校(知的障がい)での指導について、以下のような想いで内容を構成しました。指導の際には参考にさせていただきますと幸いです。

- ・ 日常にある「こんな時」を、紙芝居やクイズを通して関心を持って取り組めるようにしました。児童が自分のこととして考え、より安全な行動がとれるように、各学校の状況に応じた問題を追加・変更してご使用ください。
 - ・ Team いばらきのキャラクターである「ミスターQ」にも、ぜひ興味持ってもらえればと思います。
- また、実践後のご意見、ご感想等をぜひお聞かせいただきたく、QRコードもしくはURLよりアンケートのご協力をお願いいたします。



URL <https://forms.gle/2xUW6vdGJ54xAbB58>

2021 Team いばらき 発達段階に応じた救命教育プロジェクト